

プレスリリース

2020年1月6日

3T & 1.5T 条件付き MRI 対応 ICM (植込み型心電図記録計) 「バイオモニター 3」を発売

バイオトロニックジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ジェフリー・アニス）は、3T & 1.5T 対応型の条件付きMRI対応ICM（植込み型心電図記録計）である「バイオモニター 3」を販売開始いたしました。

バイオモニター 3は、電極間の距離が長い「ロングベクトルデザイン」を採用し、電極部分にフラクタルコーティング（イリジウム）を施すことにより、R波のセンシング効率を高め、皮下心電図ではP波やR波を視認できる可能性があります。更に、バイオモニター 3は最長4年間¹心電図をモニタし記録することができます。また、バイオモニター 3の挿入ツールは、植込み手技中にコンポーネントを組み立てる必要はなく、1ステップでバイオモニター 3を留置する皮下ポケット作成と挿入を同時に行うことができます。

バイオモニター 3の発売にあたり、川崎幸病院 心臓病センター 循環器内科副部長 伊藤 賀敏 先生は、次のように述べています。

「失神患者様は、非常に多く、既報では人口1千人あたり毎年約6人とされています。つまり、100万人の都市であれば、年間に約6千人が失神されています。その失神患者様のうち、2-3割を占める心原性（不整脈性）失神は、突然死に発展する可能性が非常に高い危険な病態であります。しかし、心原性（不整脈性）失神の原因となる不整脈をリアルタイムに的確に診断することは困難でありました。そのような中、ICMは、患者様の心電図を365日24時間モニタリングできるため、心原性（不整脈性）失神を診断できる極めて有用なデバイスといわれています。

そのICMの中でも、この度バイオトロニックジャパンより発売されたバイオモニター 3は画期的なICMと考えます。一番の特徴は、77.5mmという長い電極間を有するロングベクトルデザインにより、皮下心電図上で心室波だけでなく心房波までも捉える可能性があり、より正確に不整脈の評価を行える点です。従来のICMでは、3秒以上のpause（心停止）を認めた際に、洞不全症候群なのか完全房室ブロックなのかが、心房波が解読困難で鑑別に難渋していましたが、バイオモニター 3はより高精度な診断が期待できます。この点は、不整脈を診断する医師や失神やふらつき（浮動性眩暈）で苦しむ患者様に対して、大きな恩恵をもたらすものと確信しています。

そして、バイオモニター 3に記録されたデータの送信機能も特筆すべき点があります。従来より、同社の植込み型デバイスで採用されているHome Monitoring®を使用することにより、1日1回のデータ送信を行い、最大6エピソード分の皮下心電図の伝送が可能となっています。これにより、患者様が何か症状を感じた際に記録を行うリモートアシスタント 3によって記録されたデータのみならず、無症候性のイベントも重篤度に応じた優先順位を付けたうえで記録し確認することができます。つまり、複数のイベントを見落としなく確認することができますようになりますので、失神の原因精査の診断においては非常に重要な機能であると考えます。」

1 センシングレート 60bpm、1日1回のデータ送信及び月2回の手動記録データ送信時

報道関係者からのお問い合わせ先：

竹川 智恵子

Tel: 03-3473-7476

chieko.takekawa@biotronik.com

BIOTRONIK社について

BIOTRONIK社は50年以上にわたり、心臓および末梢血管の領域で信頼のある革新的な医療機器やサービスを提供している世界有数の医療機器メーカーです。テクノロジーと人体の調和を目指し、多くの人々の心血管領域の診断と治療に貢献するイノベーションを生み出してきました。現在、BIOTRONIK社はドイツ・ベルリンに本社を置き、100以上の国と地域で活動しています。2018年には東京にもエデュケーション & イノベーションセンターを開設しました。

www.biotronik.com

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本ビオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。バイオトロニックジャパン株式会社は“Designed for Japan, Made in Germany”を基本姿勢とし、日本の患者様の生活の質の向上をめざし、ドイツ本社の高い技術力とともに日本の医療従事者のニーズを反映した製品をお届けしています。

www.biotronik.jp